

琉生病院の病床変更について

琉生病院は、2020年（令和2年）1月に地域包括ケア病床を12床立ち上げ、療養病床76床と合わせて88床の病床を持っております。

今回病床の変更を考えておりますのは、6階病棟の療養病床4床を地域包括ケア病床に機能転換し、地域包括ケア病床を12床から16床に増床することを考えております。

病床変更の理由

これまで地域包括ケア病床は、立ち上げより順調に稼働しコロナの院内感染で減少した場合を除き、ほぼ満床に近い状態を維持してきましたが、療養病床はコロナ禍後の昨年より紹介患者が減少し経営的にも厳しい状況となっております。

当院の地域包括ケア病床は、高度急性期病院や近隣のクリニック、在宅医療施設、地域包括支援センターからの紹介も多くなり、更に需要が高まってきている状況で、今回、6階病棟の療養病床4床を地域包括ケア病床に機能転換し、地域包括ケア病床を12床から16床に増床することを病院として計画しております。

これまで12床の地域包括ケア病床をほぼ満床にしてきた実績と今後の需要もあり、地域包括ケア病床を更に4床増やして16床とし、地域の病床の機能分化・連携の推進に貢献して参りたいと存じますので、当院の病床変更に関してご理解を賜りますよう宜しくお願い致します。